



2019年3月期 第2四半期 決算説明会

2018年11月20日

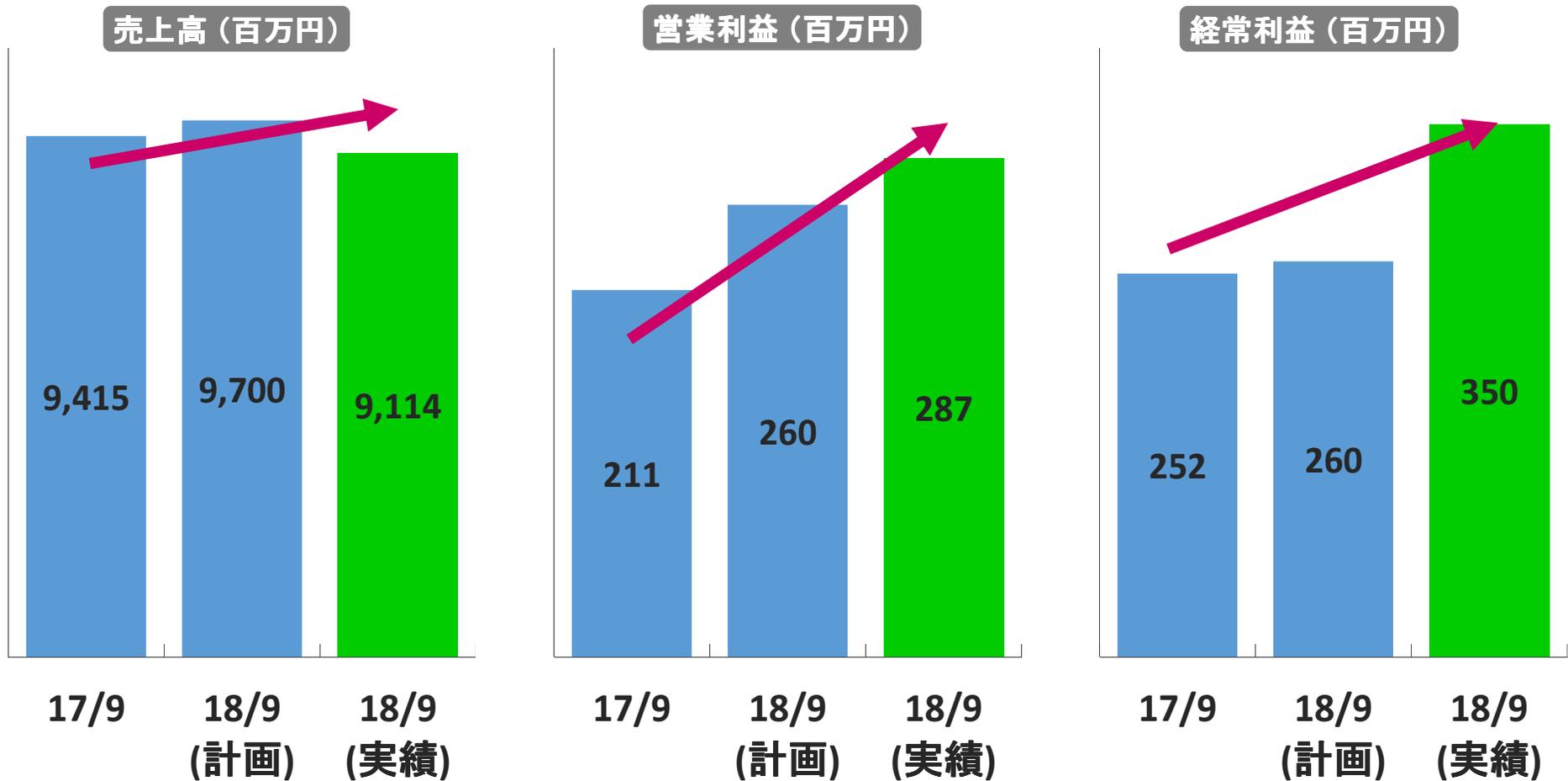


第2四半期の決算概要

※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結業績ハイライト

減収増益、営業利益・経常利益共に計画達成



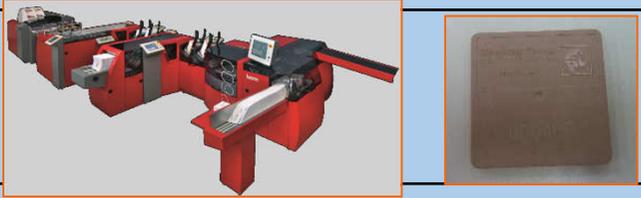
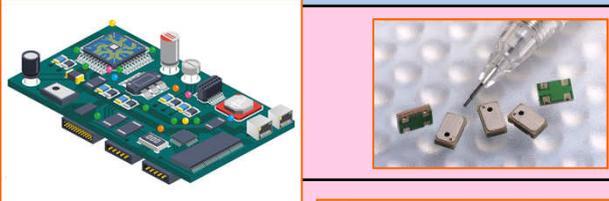
連結業績の詳細

粗利率の改善と販管費の削減により減収をカバーし増益

	17/9	18/9		計画差	前期差	前期比 (%)
	実績	計画	実績			
売上高	9,415	9,700	9,114	△585	△300	△3.2
粗利益	2,297	2,570	2,351	△218	54	2.4
粗利益率(%)	24.4	26.5	25.8	△0.7	1.4	—
販売費及び一般管理費	2,085	2,310	2,063	△246	△21	△1.1
販管费率(%)	22.1	23.8	(※) 22.6	△1.2	0.5	—
営業利益	211	260	287	27	76	36.0
営業利益率(%)	2.2	2.7	3.2	0.5	0.9	—
経常利益	252	260	350	90	97	38.5
経常利益率(%)	2.7	2.7	3.8	1.2	1.2	—
親会社株主に帰属する当期純利益	123	150	189	39	66	53.5
親会社株主に帰属する当期純利益(%)	1.3	1.5	2.1	0.5	0.8	—
人員	500	—	495	—	△5	—

※：のれん償却 71百万円計上(17/9は95百万円)

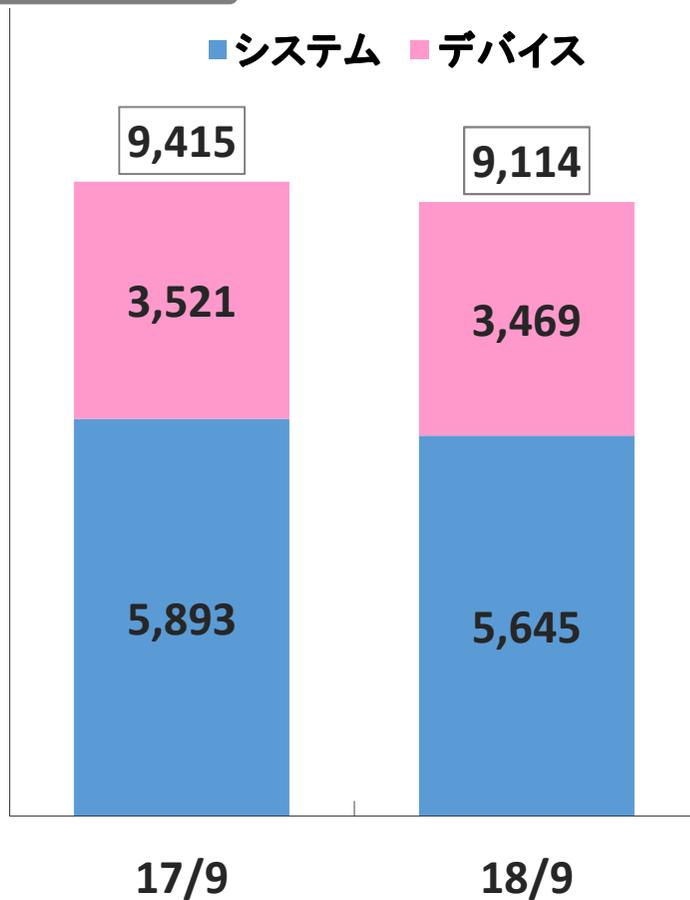
資料：セグメント・プロダクト

セグメント	プロダクト (商品類)	商品例
システム	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・EAS(商品監視システム) ・映像監視システム ・ストアマネジメントシステム ・ディスプレイセキュリティシステム ・オフィス入退室管理システム ・防火システム 
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・メーリングシステム ・RFIDシステム ・ネットワークシステム 
	カスタマ・サービス	システムセグメント内の商品の構築・保守・運用管理
デバイス	電子	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログ半導体 ・通信用電子部品 ・各種センサー 
	産機	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドレール ・ガススプリング ・ソフトクローズユニット ・電子錠 

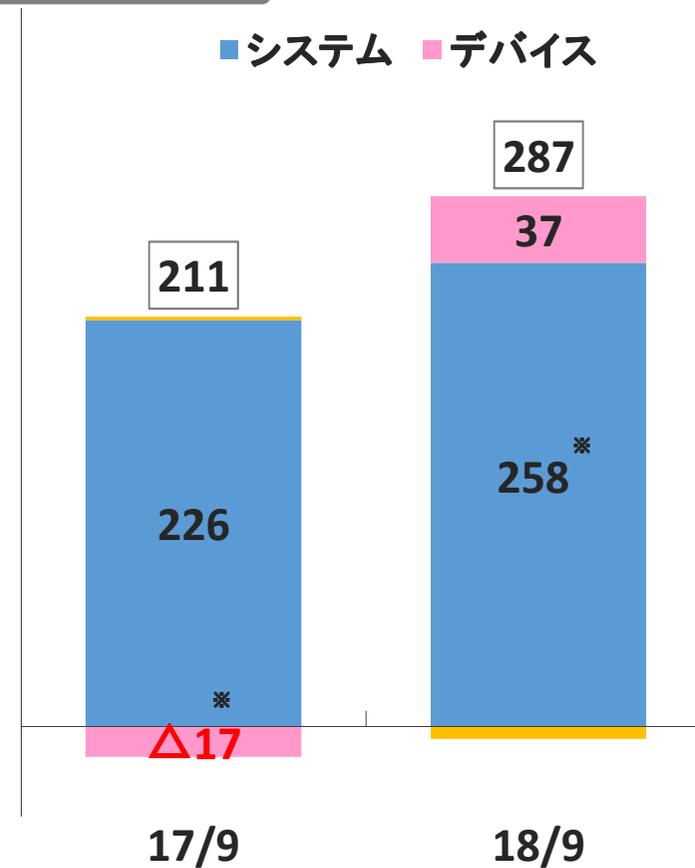
セグメント別業績

両セグメントとも減収ながら、利益率改善により増益

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)

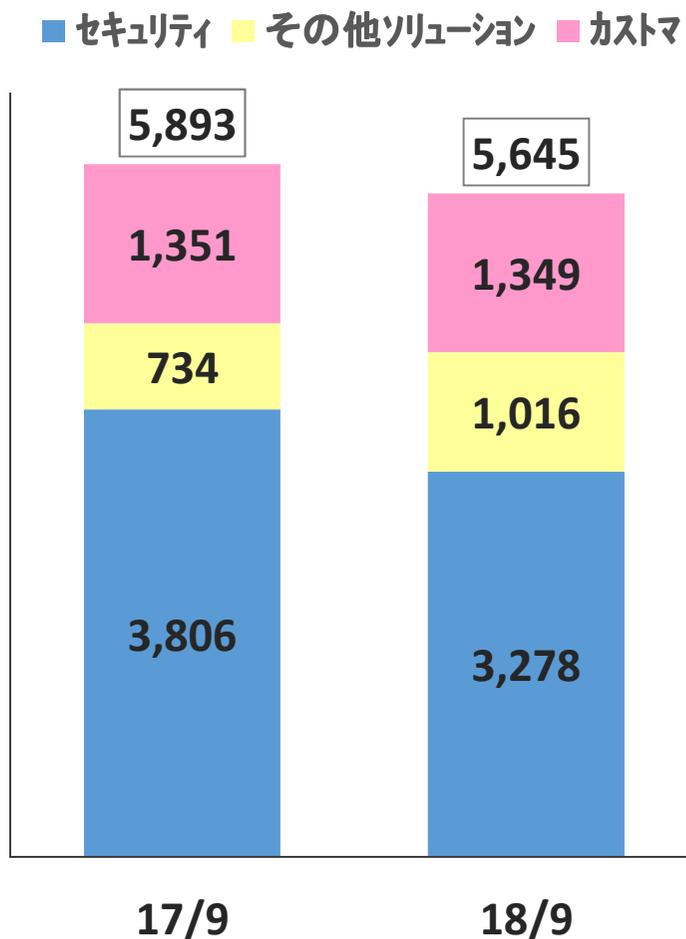


※システムには投資コスト(のれん償却)含む
17/9 95百万円 18/9 71百万円

システムセグメントの業績

セキュリティは減収 その他ソリューションは増収

売上高（百万円）



定性情報

- ◆ セキュリティは、入退室管理システムが好調、ディスプレイセキュリティが伸び悩み、大型発電プラントにおける高度防火システムの大型受注獲得、売上には至らず減収
- ◆ その他ソリューションは、クラウド型無線LANや封入封緘システムの販売が堅調
- ◆ カスタマ・サービスは、前年並み

営業利益（百万円）

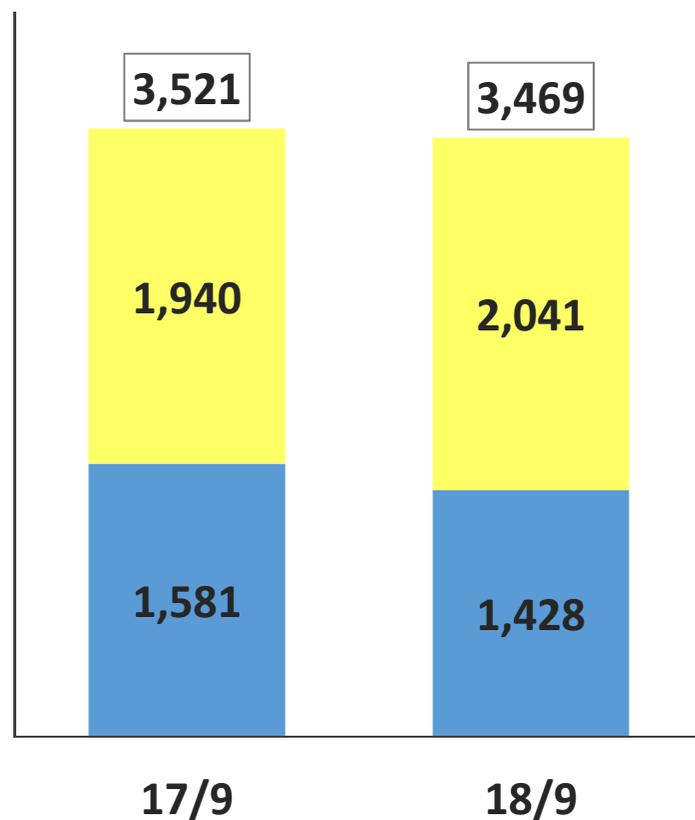
	17/9	18/9	前期比
システム	226	258	31

デバイスセグメントの業績

電子は減収、産機は増収

売上高 (百万円)

■ 電子 ■ 産機



定性情報

- ◆ 電子はスマートフォン向け電子部品の販売が減少
- ◆ 産機は住宅設備やオフィス家具向け機構部品の販売が堅調

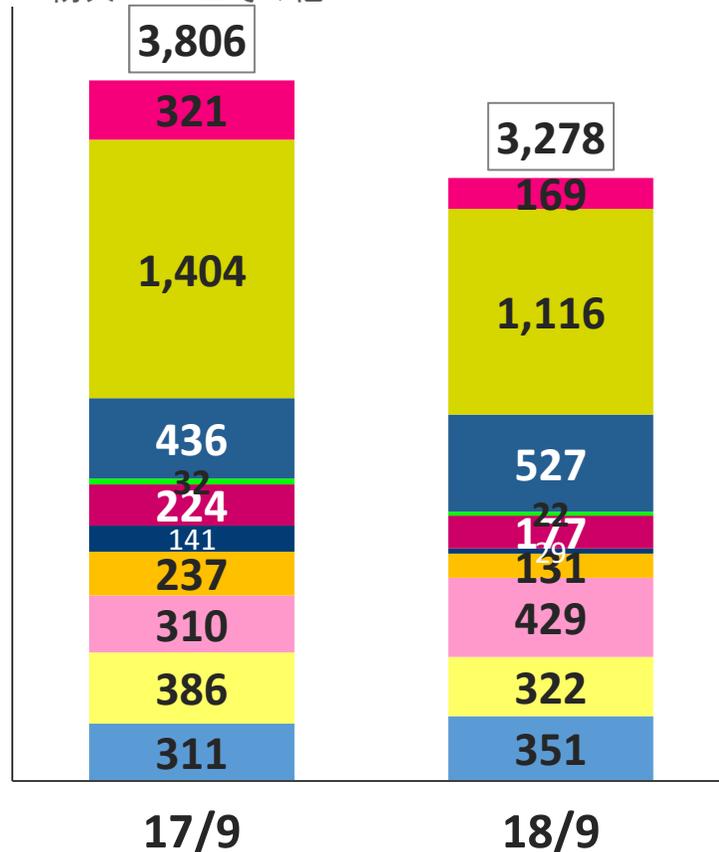
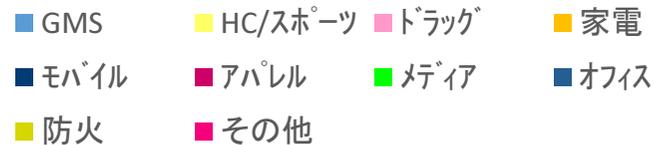
営業利益 (百万円)

	17/9	18/9	前期比
デバイス	△17	37	54

セキュリティプロダクトの業績

オフィス向け入退室管理システム堅調

売上高（百万円）



定性情報

- ◆ オフィスは働き方改革支援につながる入退室管理システムが引き続き堅調
- ◆ ドラッグは商品監視システム(EAS)のリリースにより増収
- ◆ 防火は石油プラントの落ち込みを発電所案件によりカバーを試みるが大型受注獲得も売上には至らず(2~3年にわたり売上計上)
- ◆ モバイルは昨年獲得した大手携帯キャリア向けにディスプレイセキュリティシステムが剥落



東南アジア発電所

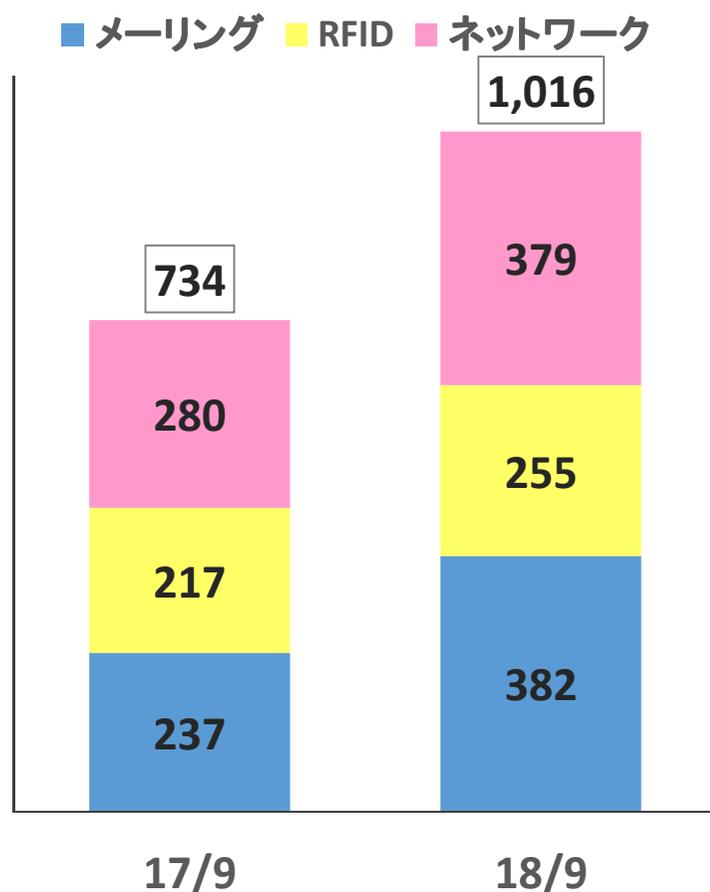


入退室管理システム

その他ソリューションプロダクトの業績

3つの市場全て増収

売上高（百万円）



定性情報

- ◆ ネットワークは引き続きクラウド型無線LANが牽引し、新商品(LG-POPCHAT)も実績化
- ◆ メーリングは封入封緘システムの新機種へのリプレイスにより増収
- ◆ RFIDは物流向けタグの販売が堅調



封入封緘機

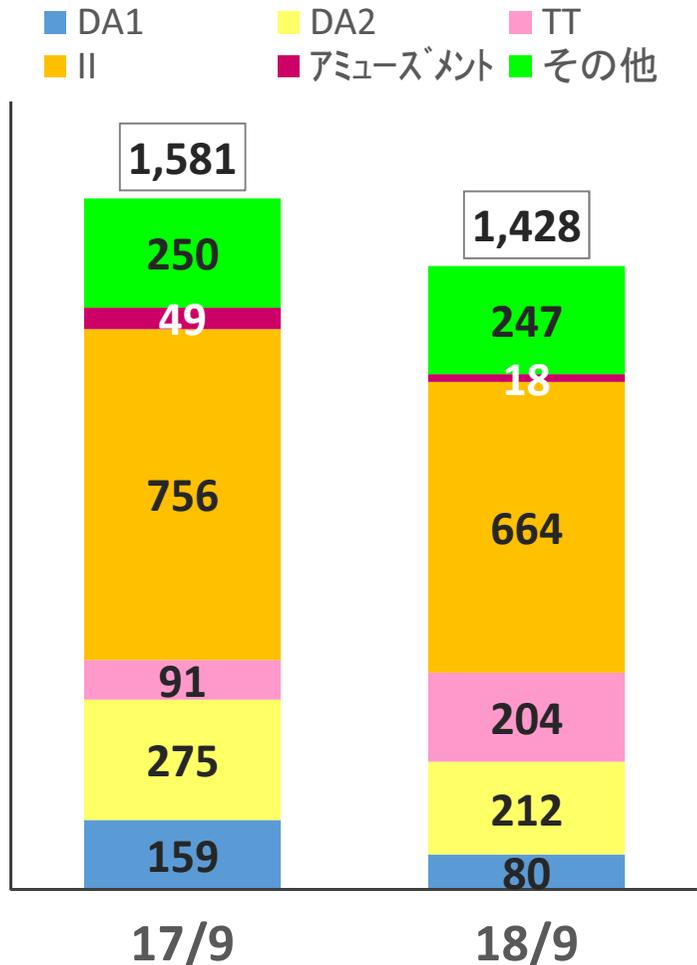


クラウド型無線LANシステム

電子プロダクトの業績

スマホ向け電子部品の販売減などにより減収

売上高（百万円）



定性情報

- ◆ 車載向けのシリコンマイクなどが伸張
- ◆ デジカメ、プリンタ向けは堅調に推移したが、スマートフォンや液晶テレビなどが苦戦し家電向けは減収
- ◆ 電子部品の需要増に伴う部材の高騰や電子部品の納期長期化なども影響



シリコンマイク



プリント基板

資料：電子プロダクトの市場区分

DA1 「デジタルアプライアンス1」

モバイル系情報家電 … 携帯電話、スマートフォン、デジタル・カメラ等

DA2 「デジタルアプライアンス2」

設置型情報家電 … 液晶テレビ、パソコン、プリンター等

TT 「テレマティクス」

車載用機器 … カーナビゲーション、車載カメラ等

II 「インダストリーインフラ」

産業機器 … 測定器、医療機器、放送設備、通信基地局、交換機等

アミューズメント

… ゲーム機、遊技機等

その他

… パワー(電源関係)、代理店販売等

産機プロダクトの業績

住宅設備やオフィス家具向け堅調

売上高（百万円）

■ 自動機 ■ 住設 ■ OA/PPC
■ OF ■ 遊技 ■ その他

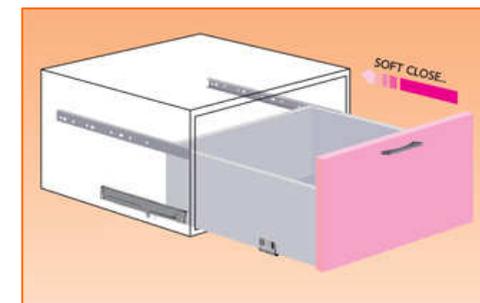


定性情報

- ◆ オフィス向けは企業の移転等に伴うオフィス家具需要の増加により、機構部品多数採用。
- ◆ 住設は米国向けソフトクローズユニットの拡販などにより微増。
- ◆ 遊技向けは、市場縮小傾向のなか一部の機種に採用され増収。
- ◆ 自動機(ATM)市場は減収幅低下。



スライドレール



ソフトクローズ
ユニット

資料：産機プロダクトの市場区分

自動機

… ATM(現金自動預け払い機)、券売機、釣銭機、自動販売機等

住設 「住宅設備」

…システムキッチン、福祉機器、引き戸、昇降棚等

OA・PPC

…複合機、コピー機、プリンター、印刷機等

OF 「オフィスファニチャー(家具)」

…オフィス用キャビネット、机、椅子等

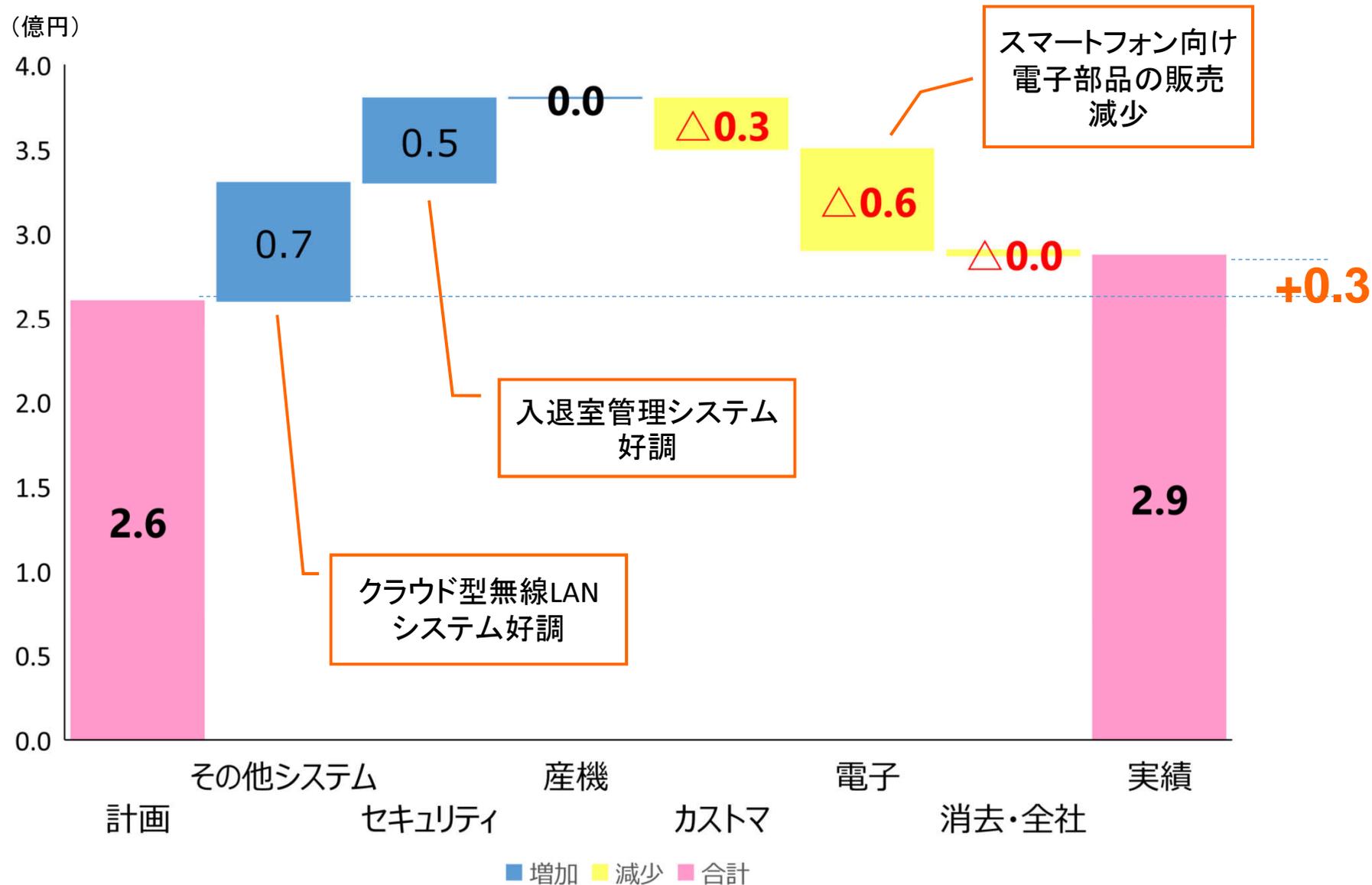
遊技

…パチンコ台間機、ゲーム機、アミューズメント設備等

その他

…上記以外で自動車内装、半導体製造装置、サーバーラック、鉄道関連等

プロダクト別実績(営業利益)



貸借対照表の状況

のれん償却により固定資産が減少

	18/3	18/9	構成比(%)	増減
流動資産	15,540	15,622	84.3	81
現金預金	6,169	6,572	35.5	403
受取手形及び売掛金	6,277	5,745	31.0	△531
商品及び製品	2,416	2,541	13.7	124
固定資産	3,025	2,910	15.7	△114
有形固定資産	302	288	1.6	△13
無形固定資産	729	689	3.7	△40
投資その他資産	1,993	1,932	10.4	△60
資産合計	18,566	18,532	100.0	△33
流動負債	3,887	3,740	20.2	△147
支払手形及び買掛金	2,640	2,435	13.1	△205
固定負債	719	680	3.7	△39
純資産	13,958	14,111	76.1	153
負債純資産合計	18,566	18,532	100.0	△33

連結キャッシュ・フロー計算書の状況

売上債権の減少により営業CFが増加

(百万円)

	17/9	18/9	前期差
営業活動によるキャッシュフロー	30	537	507
投資活動によるキャッシュフロー	△263	△42	221
財務活動によるキャッシュフロー	△112	△101	11
現金及び現金同等物の増減額	△332	403	735
現金及び現金同等物の期首残高	5,563	5,069	△494
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,231	5,472	240

株主還元策について

安定的な配当を継続的に実施

	1株あたり 年間配当金	内中間配当	配当性向:連結
2015年3月期	24円00銭	12円00銭	39.9%
2016年3月期	24円00銭	12円00銭	222.4%
2017年3月期	24円00銭	12円00銭	80.9%
2018年3月期	24円00銭	12円00銭	171.2%
2019年3月期 (予想)	24円00銭	12円00銭	(見込み) 28.1%

通期の見通し

※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

通期業績計画

中期経営計画の最終年度として持続的な成長を目指す

(百万円)

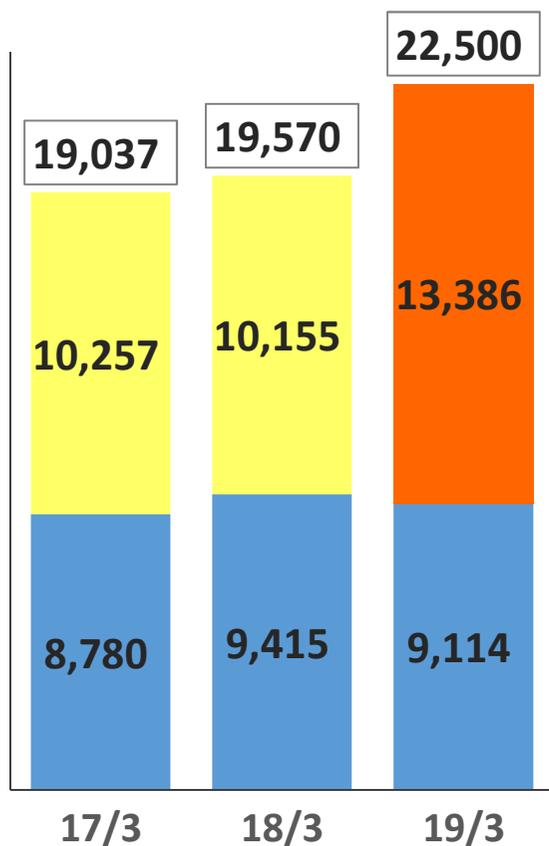
	18/3 実績	19/3 計画	前期差	前期比(%)
売上高	19,570	22,500	2,929	15.0
粗利益	4,793	5,800	1,006	21.0
粗利益率(%)	24.5	25.8	1.3	—
販売費及び一般管理費	4,130	4,600	469	11.4
販管费率(%)	21.1	20.4	△0.7	—
営業利益	663	1,200	536	80.8
営業利益率(%)	3.4	5.3	1.9	—
経常利益	706	1,200	493	69.8
経常利益率(%)	3.6	5.3	1.7	—
親会社株主に帰属する当期純利益	130	800	669	511.2
親会社株主に帰属する当期純利益率(%)	0.7	3.6	2.9	—

下期業績計画

下期に大きく増益見込

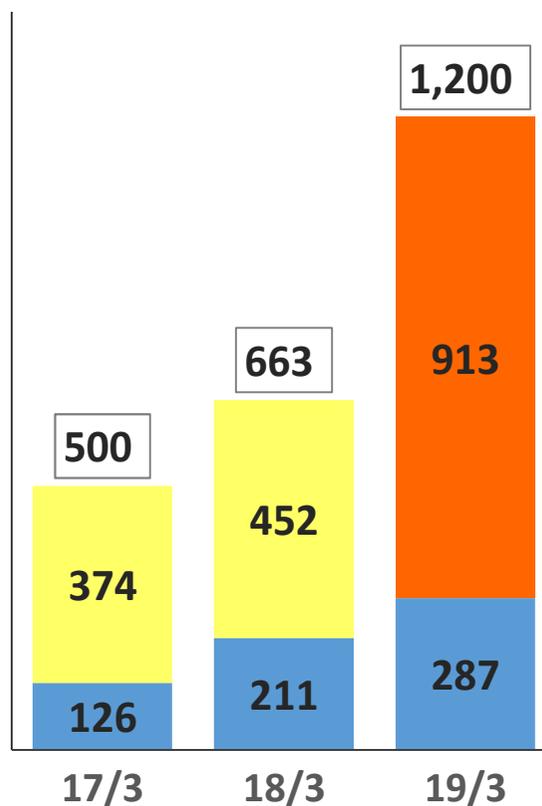
売上高 (百万円)

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込



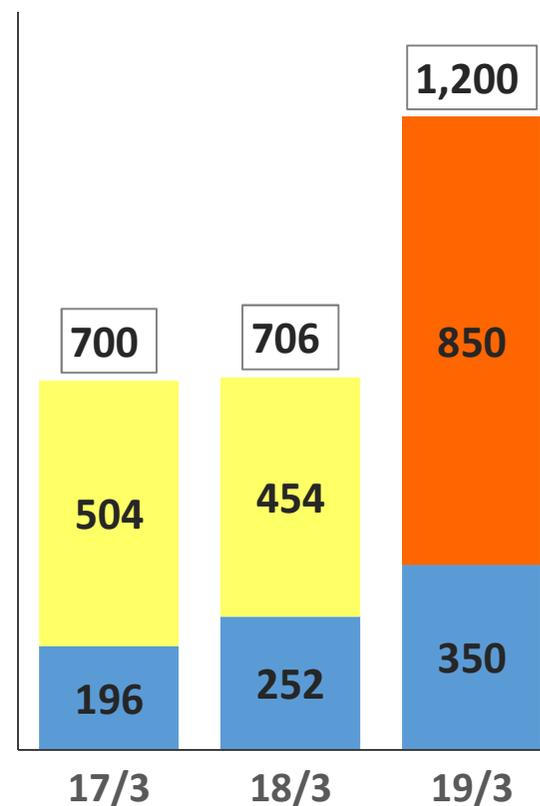
営業利益 (百万円)

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込



経常利益 (百万円)

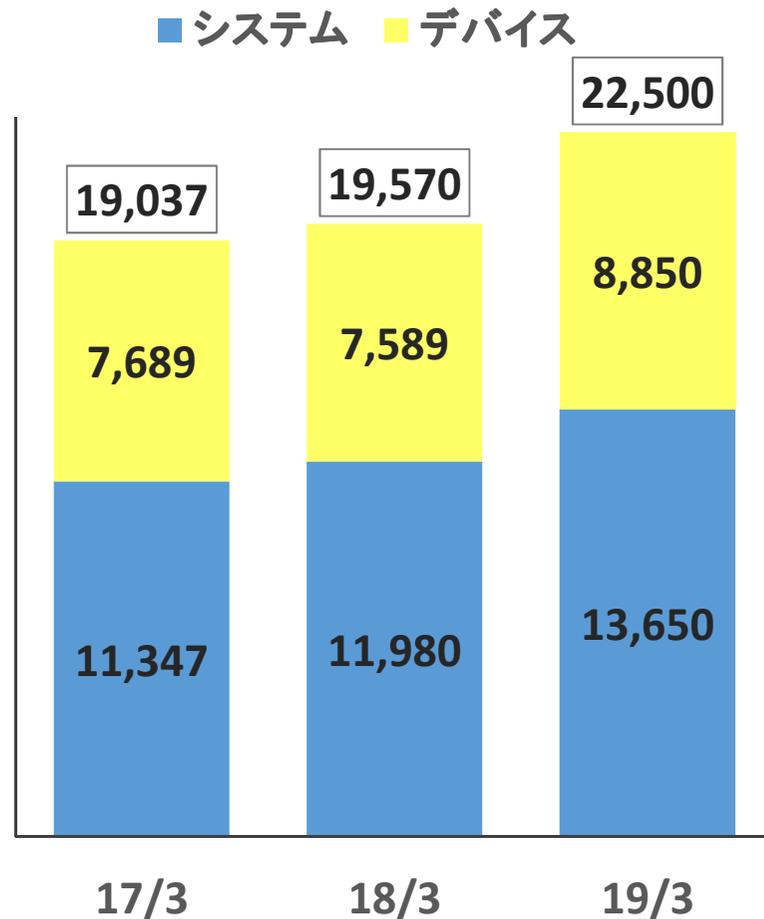
■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込



セグメント別販売計画

両セグメントで増収を計画

売上高 (百万円)



定性情報

- ◆ システム: 小売業向けセキュリティ商品の複合販売、東南アジア防火システム案件強化を図る
- ◆ デバイス: 電子は次世代移動通信「5G」向け電源モジュールの本格的な立ち上げなどによる拡販、産機はグローバルビジネスの攻略を進める

(百万円)

	18/3	19/3	前期比
売上高	19,570	22,500	2,929
営業利益	663	1,200	536
経常利益	706	1,200	493
親会社株主に帰属する 当期純利益	130	800	669

セグメント別販売計画の詳細

全プロダクトで増収計画

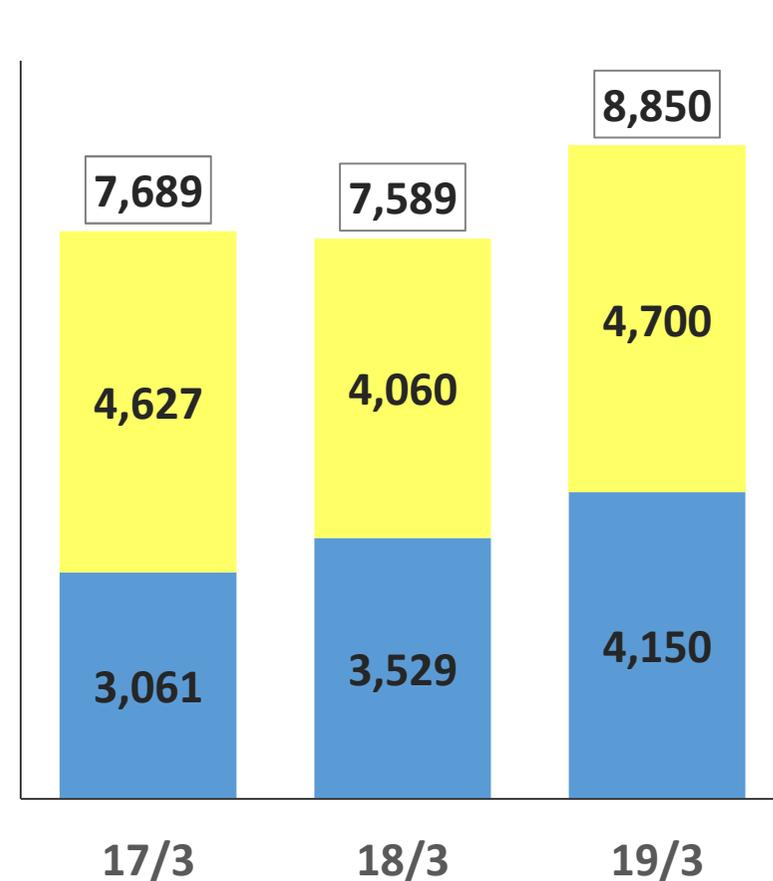
システム

■ セキュリティ ■ その他ソリューション ■ カスタマ



デバイス

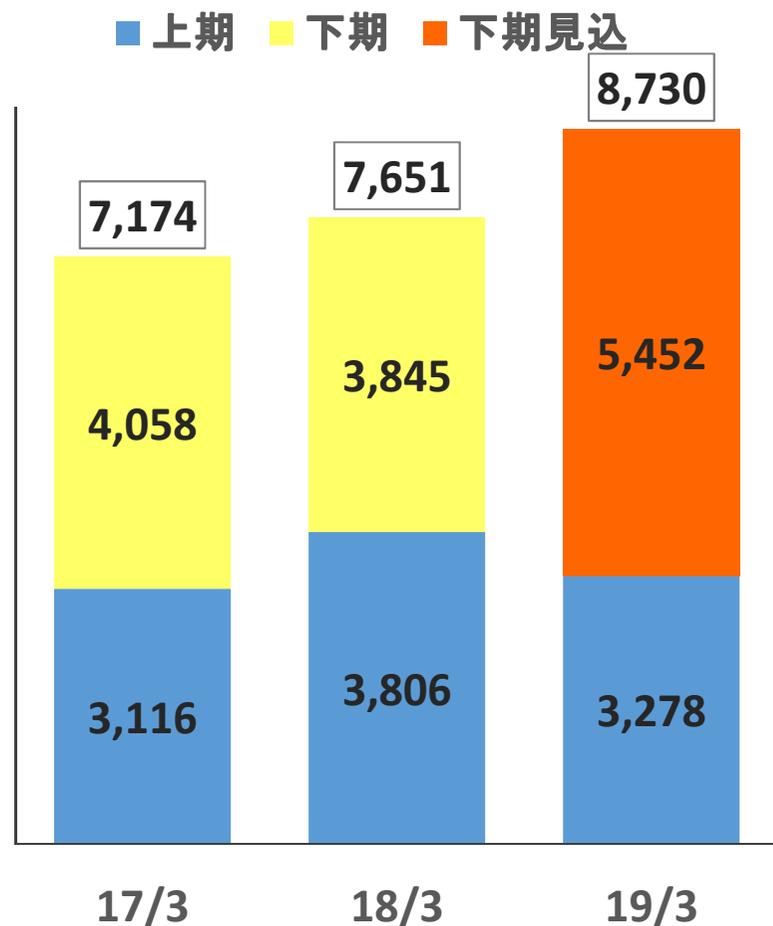
■ 電子 ■ 産機



セキュリティ製品の販売計画

入退室管理システムの拡販、及びグローバル事業を推進

売上高（百万円）



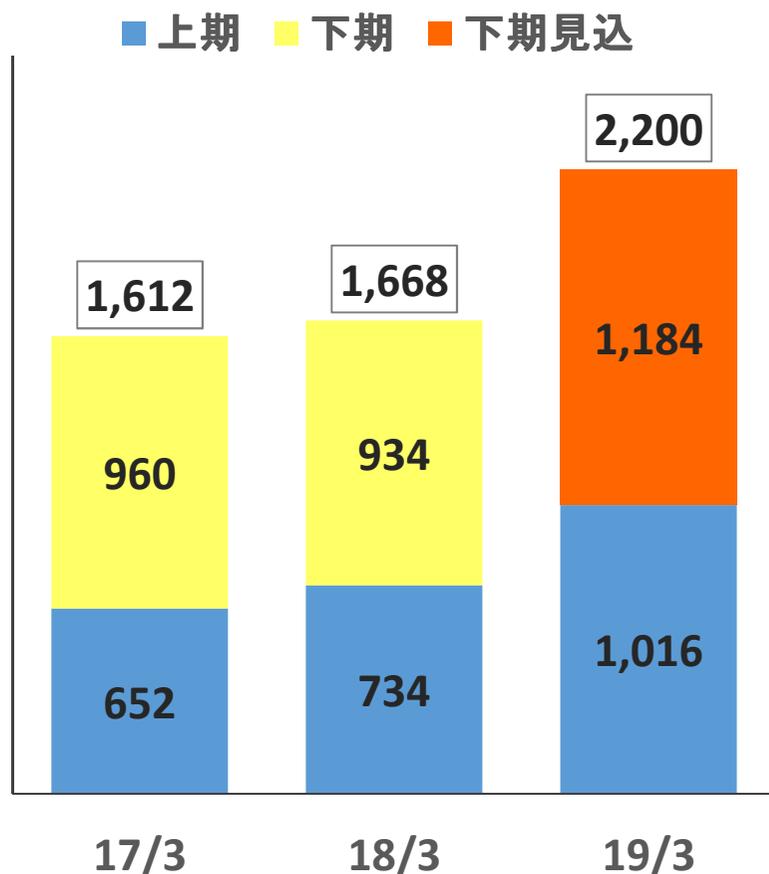
主な施策

- ◆ オフィスは外資系企業攻略継続に加え、国内企業向けに入退室管理により働き方改革を可能にする提案セールス強化
- ◆ 海外は上期に受注した発電所案件の売上計上と原油価格回復に伴う石油コンビナート等の防火システム案件の取り込み強化
- ◆ 小売店向けでは、商品監視システム・監視カメラ等の店舗セキュリティに関わる複合販売を強化
- ◆ 商品監視システムは更新需要を的確に捉えリプレイス販売強化

その他ソリューション製品の販売計画

クラウド型無線LANの拡販と既存事業の拡大

売上高（百万円）



主な施策

- ◆ ネットワークはクラウド型無線LANの拡販継続（特にMSP*サービス）
- ◆ メーリングは大型封入封函機のリプレイス販売強化

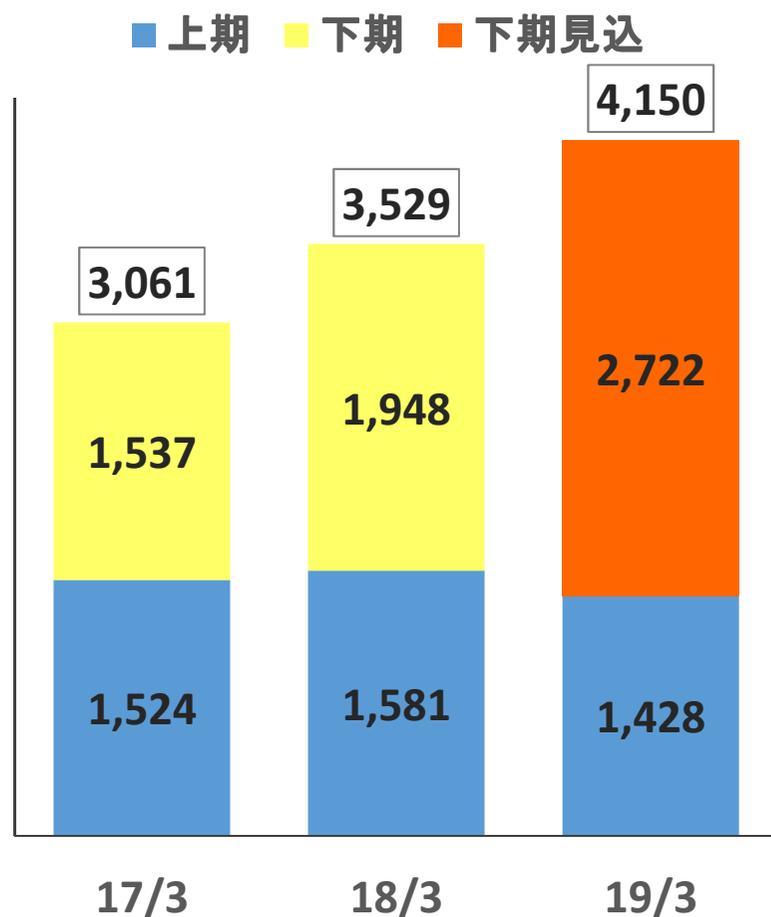
*MSP: マネジメント・サービス・プロバイダーの略で、情報通信機器などの運用管理を代行する事業者のこと。

電子プロダクトの販売計画

「5G」向け電源モジュールや車載向け電子部品の販売強化

売上高（百万円）

主な施策



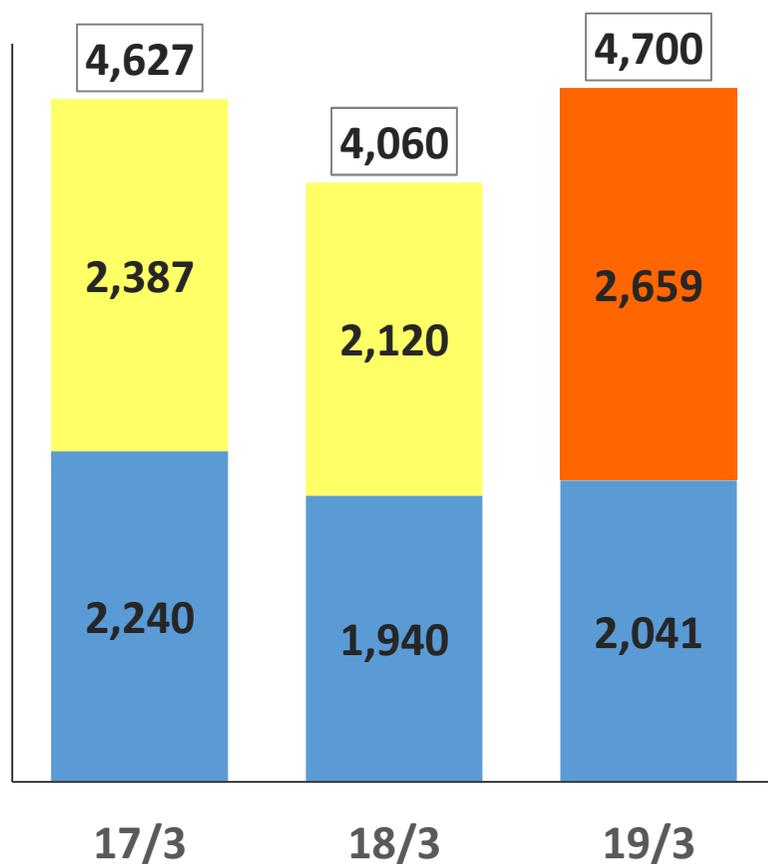
- ◆ 次世代移動通信「5G」向け電源モジュールの本格的な立ち上げ
- ◆ 車載用のエンターテインメントを中心とした各種機器向けにシリコンマイク拡販
- ◆ 総務省が推進するICT基盤整備の一環として、鉄道通信インフラ（新幹線トンネル内基地局）向け販売継続

産機製品の販売計画

グローバルビジネスと新市場開拓強化

売上高（百万円）

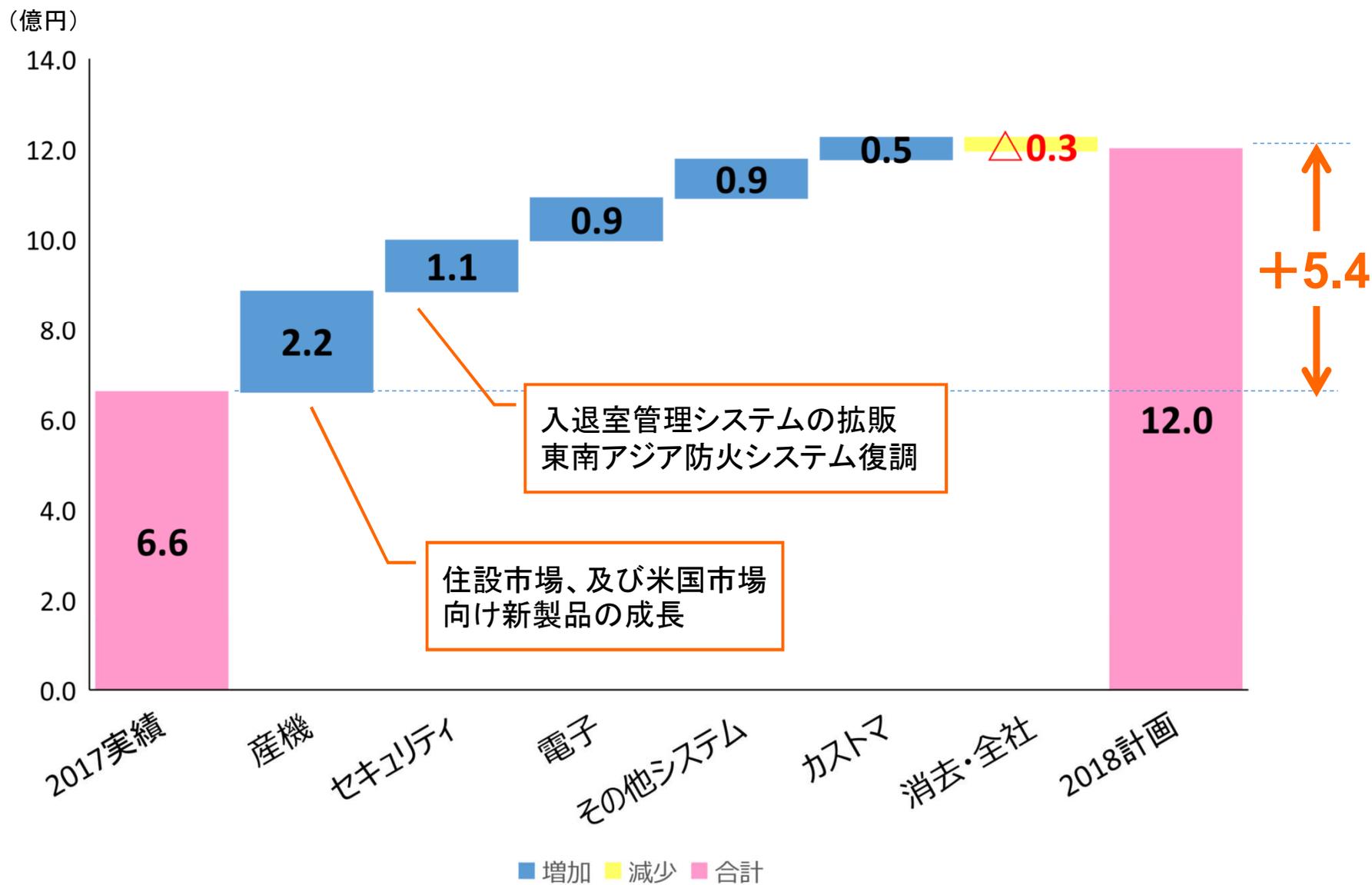
■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込



主な施策

- ◆ 住宅設備市場を中心に中国・北米で販売強化（Made in Japanを前面に）
- ◆ PPC市場向けにソフトクローズレールを拡販
- ◆ 新商品を製造設備・装置市場に販売強化

プロダクト別計画(営業利益)



ありがとうございました。



当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、
記載された将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。